



FRANKLIN TEMPLETON
INVESTMENTS

テンプレートン・グローバル株式ファンド

(愛称:株の祭典)

マンスリー・レポート

2018年10月号

(基準日:2018年9月28日)



運用実績

2018年9月末日現在

運用実績の推移



ファンドの概要

- 商品分類 追加型投信/内外/株式
- 信託設定日 2007年2月23日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則11月28日
(休業日の場合は翌営業日)
- 信託報酬 年率1.242%(税抜1.15%)

基準価額・純資産総額

基準価額	11,304円
(前月末比)	361円
純資産総額	8.2億円
(前月末比)	0.2億円

分配実績(税引前)

(過去5期分)

第7期	2013.11.28	0円
第8期	2014.11.28	0円
第9期	2015.11.30	0円
第10期	2016.11.28	0円
第11期	2017.11.28	170円

設定来累計 170円

※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

期間別騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	3.30%	6.80%	10.78%	4.45%	26.83%	39.00%	14.84%

※ファンドの騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものと計算しております。

したがって、騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

※騰落率は、当資料作成基準日から各期間の応当日にさかのぼって計算しております。

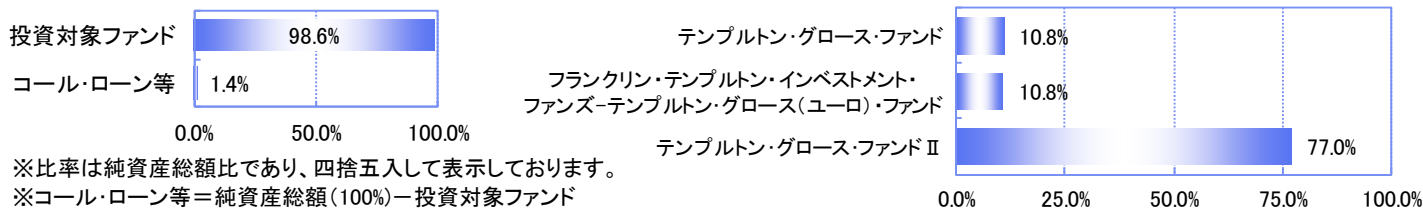
※基準価額の計算に当たっては信託報酬を控除してあります。

※基準価額および分配金は1万口当たりの額です。

※騰落率は四捨五入して表示しております。

ポートフォリオの状況

2018年9月末日現在



※比率は純資産総額比であり、四捨五入して表示しております。

※コール・ローン等=純資産総額(100%)−投資対象ファンド

投資対象ファンドの資産内容 (資産別組入状況)

2018年9月末日現在(現地)

	純資産	株式	債券	短期金融商品その他	計
<米国籍> テンプレートン・グロース・ファンド	1兆5572億円	94.4%	0.5%	5.1%	100.0%
<ルクセンブルク籍> テンプレートン・グロース(ユーロ)・ファンド	9975億円	93.6%	0.5%	6.0%	100.0%
<ケイマン籍> テンプレートン・グロース・ファンドII	6億円	98.3%	0.8%	1.0%	100.0%

※比率は四捨五入してしておりますので、合計数字が一致しない場合があります。

※純資産は、本邦月末基準の三菱UFJ銀行対顧客電信売買相場仲値で円換算。

当資料は、フランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社が作成したものです。取得のお申込みに当たっては、販売会社より最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をお渡しますので、必ず内容を確認のうえご自身でご判断ください。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境などにより変動します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。したがって、元本保証はありません。市場環境等の評価、分析は、将来の運用成果等を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績(税引前)は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

Copyright © 2018. Franklin Templeton Investments. All rights reserved.

◆投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・ファンドのお申込みは

◆設定・運用は

フランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第391号

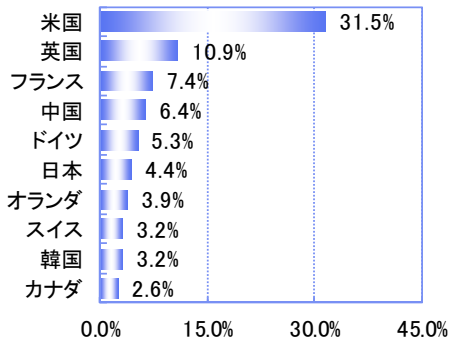
加入協会/一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

投資対象ファンドの資産内容 (株式組入状況)

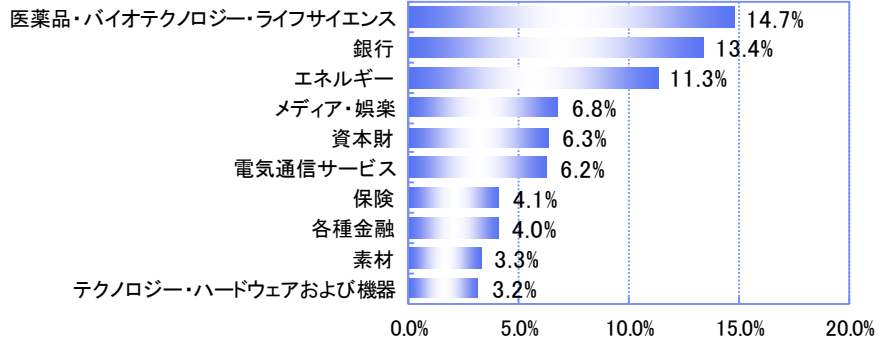
テンプレートン・グロース・ファンド <米国籍>

2018年9月末日現在(現地)

●株式組入上位10カ国



●株式組入上位10業種



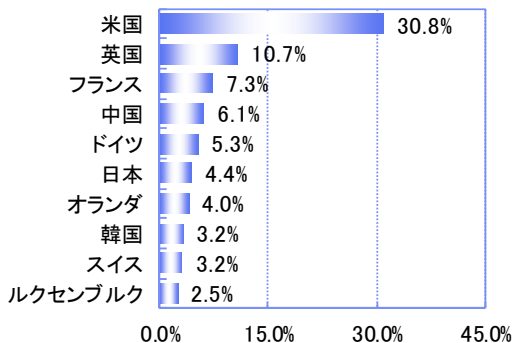
●株式組入上位10銘柄

銘柄名	国名	比率
SES SA	ルクセンブルク	2.5%
ROYAL DUTCH SHELL PLC	英国	2.4%
ORACLE CORP	米国	2.3%
CITIGROUP INC	米国	2.3%
BP PLC	英国	2.2%
ALLERGAN PLC	米国	2.1%
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	2.0%
SINGAPORE TELECOMMUNICATIONS LTD	シンガポール	1.9%
ENI SPA	イタリア	1.8%
TEVA PHARMACEUTICAL INDUSTRIES LTD	イスラエル	1.7%

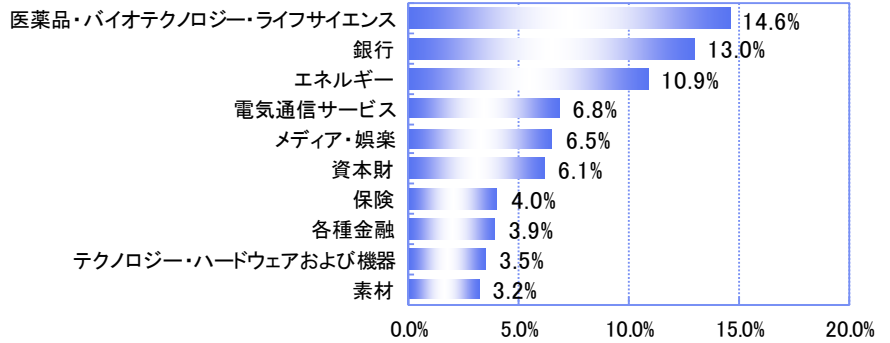
テンプレートン・グロース(ユーロ)・ファンド <ルクセンブルク籍>

2018年9月末日現在(現地)

●株式組入上位10カ国



●株式組入上位10業種



●株式組入上位10銘柄

銘柄名	国名	比率
SES SA	ルクセンブルク	2.5%
ROYAL DUTCH SHELL PLC	英国	2.4%
ORACLE CORP	米国	2.3%
CITIGROUP INC	米国	2.1%
ALLERGAN PLC	米国	2.1%
BP PLC	英国	2.1%
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	2.0%
SINGAPORE TELECOMMUNICATIONS LTD	シンガポール	1.9%
TEVA PHARMACEUTICAL INDUSTRIES LTD	イスラエル	1.7%
ENI SPA	イタリア	1.7%

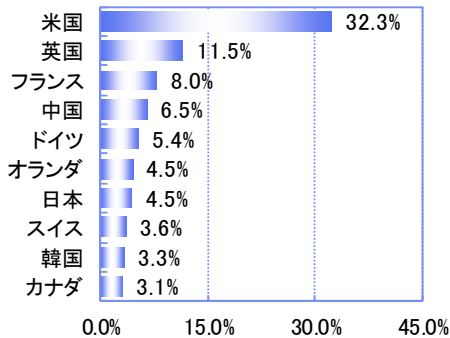
※当資料作成時点で取得可能な投資対象ファンドの開示データに基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
 ※業種分類は、スタンダード&プアーズとMSCIが共同で開発した「世界産業分類基準(GICS)」の24の産業グループを使用しております。
 ※比率は純資産比であり、四捨五入して表示しております。
 ※組入銘柄につきましては「<参考情報>投資対象ファンドの組入銘柄について」も併せてご参照下さい。

当資料は、フランクリン・テンプレートン・インベストメント株式会社を作成したものです。取得のお申込みに当たっては、販売会社より最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をお渡ししますので、必ず内容を確認のうえご自身でご判断ください。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境などにより変動します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。したがって、元本保証はありません。市場環境等の評価、分析は、将来の運用成果等を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績(税引前)は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

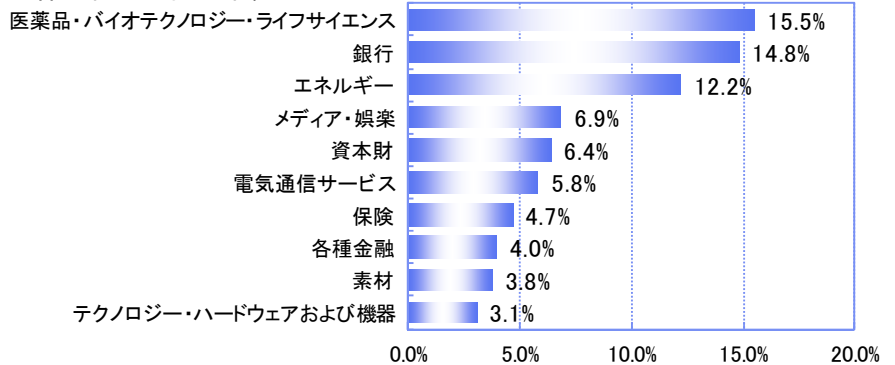
テンプレートン・グロース・ファンドⅡ <ケイマン籍>

2018年9月末日現在(現地)

●株式組入上位10カ国



●株式組入上位10業種



●株式組入上位10銘柄

銘柄名	国名	比率
SES SA	ルクセンブルク	2.6%
ROYAL DUTCH SHELL PLC	英国	2.4%
ORACLE CORP	米国	2.4%
CITIGROUP INC	米国	2.4%
ALLERGAN PLC	米国	2.3%
BP PLC	英国	2.3%
SINGAPORE TELECOMMUNICATIONS LTD	シンガポール	2.2%
ENI SPA	イタリア	2.2%
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	2.0%
STANDARD CHARTERED PLC	英国	1.8%

※当資料作成時点で取得可能な投資対象ファンドの開示データに基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
 ※業種分類は、スタンダード&プアーズとMSCIが共同で開発した「世界産業分類基準(GICS)」の24の産業グループを使用しております。
 ※比率は純資産比であり、四捨五入して表示しております。
 ※組入銘柄につきましては「<参考情報>投資対象ファンドの組入銘柄について」も併せてご参照下さい。

運用の状況

当月末(2018年9月28日)の基準価額は11,304円となり前月末(10,943円)から361円の値上がりとなりました。この値上がりは、投資対象ファンドの基準価額(米ドルベース)が値上がり、米ドルが対円で上昇したことによるものです。当月末の当ファンドの純資産総額は8.2億円となりました。


<ご参考:投資対象ファンドの運用担当者のコメント(2018年7-9月)>

2018年7-9月期、世界の株式市場は上昇しました。当期中、進展がみられる分野があった一方で、後退した分野もありました。貿易摩擦や新興国市場のボラティリティ、英国の欧州連合(EU)離脱(ブレグジット)を巡る不協和音などの市場リスクは悪化したものの、投資家はそうしたことを冷静に受け止め、依然好調な企業業績や米国の堅調な経済成長により注目しました。主要国経済が拡大し、世界経済はプラス成長を維持しました。米国の消費者信頼感指数が20年ぶりの高水準となったことや2018年4-6月期の米国内総生産(GDP)成長率(確定値)が前期比年率+4.2%となったことから、経済成長の「シンクロシティ(同期性)」はあまり議論されなくなりました。こうした環境下、米連邦準備理事会(FRB)は事前予想通り2018年3度目となる利上げを実施し、米連邦公開市場委員会(FOMC)後の声明文から金融政策が「緩和的」との文言を削除しました。トランプ米大統領の貿易交渉が継続し、カナダは最終的に、米国とメキシコが合意した北米自由貿易協定(NAFTA)改定に合流することになりました。アジアでは、米国が環太平洋パートナーシップ協定(TPP)への再加入を拒否した後、日本は米国との2国間貿易協定協議を受け入れました。一方で、最大の貿易相手国同士である米国と中国の貿易摩擦は激化しました。当期、中国、日本では経済成長に逆風が吹いたため、両国の政策当局はより緩和的な金融政策を維持しました。欧州では、期初の経済成長は鈍化して始まったものの、期後半には、ユーロ圏の製造業購買担当者景気指数(PMI)が7月の最低水準から回復するなど経済環境は幾分改善しました。一方、困難を伴うイタリアの予算交渉やブレグジット交渉への高まる不満など、欧州の政治的圧力は引き続き欧州金融市場の重しとなりました。こうした環境下、欧州中央銀行(ECB)は年末までに債券購入を終了させる方針を再確認しました。その他地域では、トルコリラが急落したことから新興国市場に激震が走り、世界的にリスク性資産に悪影響を及ぼしました。これを受け、米ドルは強含み、先進国の債券利回りは上昇し、貴金属や工業用金属価格は下落しました。石油輸出機構(OPEC)とロシアがトランプ米大統領の増産要請を拒んだため、ブレント原油価格は1バレル80米ドルを上回りました。こうした状況の下、ファンダメンタルズやバリュエーションの中長期的な観点から、世界の主要な金融市場において選別的に投資機会を見出すことが可能であると考えます。今後も、堅調なファンダメンタルズと優れた競争力を有し、株価バリュエーションが魅力的な銘柄を世界の企業の中から厳選し投資してまいります。

※上記コメントは、投資対象ファンドの運用担当者が作成したコメントの抜粋です。※本投資対象ファンドの運用担当者コメントは、将来の市場環境の変動等を保証するものではなく、投資家の皆様への投資助言でもありません。また、その内容は事前の予告なく変更する場合があります。


当資料は、フランクリン・テンプレートン・インベスメント株式会社作成したものです。取得のお申込みに当たっては、販売会社より最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をお渡ししますので、必ず内容を確認のうえご自身でご判断ください。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境などにより変動します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります)。したがって、元本保証はありません。市場環境等の評価、分析は、将来の運用成果等を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績(税引前)は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

ファンドの特色


- 

当ファンドは、テンプレトン・グローバル・アドバイザーズ・リミテッド(TGAL)が運用する3つの外貨建て投資信託証券(投資対象ファンド)を通じて、主として世界各国の株式に投資を行い、投資信託財産の長期的な成長を目指します。

 - TGALは、フランクリン・テンプレトン・グループの主要な運用会社の1つであり、米国でグローバル株式の運用会社として草分け的な存在であるテンプレトンの投資理念を受け継いでいます。
 - テンプレトン ブランドの代表ファンドである「テンプレトン・グロース・ファンド」は、米国投資信託業界初のグローバル株式ファンドとして1954年に設定されました。

※3つの投資対象ファンドの組入れは、投資対象ファンドの資金動向や資産状況等を勘案して行います。
- 

投資対象ファンドは、あらかじめ特定の業種、国、地域等への投資配分を定めず、ボトム・アップアプローチによって世界各国の株式に投資します。組入銘柄は、株価がテンプレトンの投資理念に基づく評価で投資価値が大きいと判断した組入候補銘柄群(“バーゲンリスト”)の中から選定されます。

 - 投資対象ファンドが組み入れる株式は、新興国市場の株式を含みます。
 - 投資対象ファンドは、市場の状況によっては、純資産総額の25%を限度として世界各国の債券等を組み入れることがあります。
- 

当ファンドの外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行わないこととします。

＜主な投資リスク＞ 当ファンドの投資にあたっては、主として下記のようなリスクが想定されます。

【基準価額の変動要因】

ファンドは、値動きのある資産に投資しますので、基準価額が変動します。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用により生じた利益および損失はすべて投資者の皆様へ帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

ファンドは、外国投資証券への投資を通じて、主として世界各国の株式に投資を行うため、以下の「主な変動要因」などがファンドの基準価額に影響を及ぼします。

■主な変動要因

価格変動リスク	<p>○有価証券等の価格変動リスク: 当ファンドは、投資信託証券(投資対象ファンド)への投資を通じて世界各国の株式などの値動きのある有価証券等に投資します。したがって、当ファンドの基準価額は、当ファンドおよび投資対象ファンドが組入れたこれら有価証券等の市場価格の変動による影響を受けます。</p> <p>○為替変動リスク: 外貨建資産への投資を行う場合には、為替相場の変動による影響を受けます。当ファンドが投資を行う投資対象ファンドは米ドル建てです。当ファンドは原則として為替ヘッジを行いませんので、為替相場の変動の影響を受けます。また、投資対象ファンドは、世界各国の有価証券等に投資しますので、投資対象ファンドの基準価額は、為替相場の変動の影響を受けます。</p>
流動性リスク	市場規模や取引量が少ない場合、組入有価証券等を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があり、不測の損失を被ることがあります。このような場合には、当ファンドの基準価額はその影響を受けることがあります。
信用リスク	当ファンドおよび投資対象ファンドが保有する有価証券等の発行体および有価証券等の取引の相手方の経営・財務状況の変化ならびにそれらに関する外部評価の変化等により、損失を被ることがあります。このような場合には、当ファンドの基準価額はその影響を受けることがあります。
カントリーリスク	世界各国の金融・証券市場への投資は、それらの国・地域の政治、経済および社会情勢の変化等によって市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな制限や規制が設けられた等の場合には、運用上の制約を受ける可能性があります。このような場合に、当ファンドの基準価額はその影響を受けることがあります。また、新興国の金融・証券市場への投資には、政治・経済構造が先進国と比べ不安定であるため、投資環境の急変により市場が混乱した場合や取引に対して新たな制限や規制が設けられた場合、運用上の制約を大きく受ける可能性が想定されます。このような場合に、当ファンドの基準価額はその影響を受けることがあります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

＜投資信託ご購入時の注意点＞

- 当ファンドは、投資信託証券(投資対象ファンド)への投資を通じて、主として世界各国の株式に投資を行います。当ファンドの基準価額は、投資信託証券(投資対象ファンド)および投資信託証券(投資対象ファンド)の組入れた有価証券等の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託証券(投資対象ファンド)および投資信託証券(投資対象ファンド)の組入れた有価証券等の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。
- 投資信託は預金等ではなく、預金保険機構の保険金の支払対象ではありません。
- 投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の補償対象契約ではありません。
- 投資信託は元本は保証されていません。
- 登録金融機関は、金融商品取引業者とは異なり、投資者保護基金に加入していません。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

当資料は、フランクリン・テンプレトン・インベスメンツ株式会社が作成したものです。取得のお申込みに当たっては、販売会社より最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をお渡ししますので、必ず内容を確認のうえご自身でご判断ください。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境などにより変動します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。したがって、元本保証はありません。市場環境等の評価、分析は、将来の運用成果等を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績(税引前)は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

Copyright © 2018. Franklin Templeton Investments. All rights reserved.

<お申込みメモ> (お申込みの際は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください)

購入単位	販売会社が定める単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社の指定する日までに販売会社にお支払い下さい。
換金単位	1口単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として5営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として午後3時までとします。 ただし、受付時間は販売会社によって異なることもありますので、ご注意ください。これらの受付時間を過ぎてからのお申込みは翌営業日の取扱いとなります。
申込不可日	販売会社の営業日であっても、ニューヨーク証券取引所またはニューヨークの銀行の休業日にはお申込みの受付を行いません。
購入の申込期間	平成30年2月17日から平成31年2月22日まで ※申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。
換金制限	ありません。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	委託会社は、証券取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、投資信託財産の適正な評価ができないと委託会社が判断したときなどやむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことができます。
信託期間	無期限(設定日:平成19年2月23日)
繰上償還	委託会社は、受益権の口数が5億口を下回ることになった場合、ファンドの信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させることができます。
決算日	毎年11月28日(休業日の場合は、翌営業日)
収益分配	毎決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。 ※販売会社との契約によっては再投資が可能です。
課税関係	個人の投資家の場合、原則として、収益分配時の普通分配金ならびに換金(解約)時および償還時の譲渡益に対して課税されます。 ※税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になる場合があります。 ※課税上は株式投資信託として取り扱われます。益金不算入制度、配当控除の適用はありません。 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 ※課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めいたします。

※購入単位および換金単位、収益分配金の受取方法等は、販売会社によって異なる場合があります。詳しくは販売会社にご確認下さい。

<ファンドの費用>

■投資者が直接的に負担する費用		
購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、3.78%(税抜3.5%)を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額です。 ※収益分配金を再投資する場合は、購入時手数料はかかりません。	
信託財産留保額	ありません。	
■投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用		
運用管理費用 (信託報酬)	当ファンド	信託報酬の総額は、日々のファンドの純資産総額に信託報酬率(年1.242%(税抜1.15%))を乗じて得た額とします。 ファンドの信託報酬は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき投資信託財産から支払われます。また、信託報酬にかかる消費税等に相当する金額を、信託報酬支払時にファンドから支弁します。 信託報酬率(税抜)の配分は以下の通りです。 (委託会社)年0.26%、(販売会社)年0.85%、(受託会社)年0.04%
	投資対象とする 投資信託証券	投資信託証券の純資産額に運用・管理報酬等の料率(年0.63%~年1.04%程度)を乗じて得た額とします。運用・管理報酬等の料率は投資信託証券により異なります。
	実質的な負担	当ファンドの信託報酬と投資信託証券の運用・管理報酬等を合計した、受益者が実質的に負担する料率は、年1.872%~年2.282%程度(税込)です。 *実際の負担率は、投資信託証券の組入比率などにより変動します。 一部の投資信託証券における管理事務代行報酬、保管銀行報酬等は含まれておりません。
その他費用・手数料	投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、投資信託財産にかかる監査費用、有価証券の保管費用、等を投資信託財産でご負担いただきます。 これらの費用等については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。	

※当ファンドの信託報酬および監査費用は、毎日計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに投資信託財産から支払われます。その他費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度、投資信託財産から支払われます。

※ファンドの費用の合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

<委託会社、その他の関係法人>

委託会社 [ファンドの運用の指図を行う者]
フランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社

受託会社 [ファンドの財産の保管および管理を行う者]
三菱UFJ信託銀行株式会社
(再信託受託会社: 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)

基準価額等については、委託会社の下記照会先までお問い合わせ下さい。

電話番号 : 03-6230-5699 (受付時間 9:00~17:00 土・日・祝日
および12月31日・1月2日・1月3日を除く)

ホームページ : <http://www.franklintempleton.co.jp/>

販売会社 : 取扱販売会社については次ページの販売会社一覧をご覧ください。

当資料は、フランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社が作成したものです。取得のお申込みに当たっては、販売会社より最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をお渡します。必ず内容を確認のうえご自身でご判断ください。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境などにより変動します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。したがって、元本保証はありません。市場環境等の評価、分析は、将来の運用成果等を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績(税引前)は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

Copyright © 2018. Franklin Templeton Investments. All rights reserved.

「テンプレトン・グローバル株式ファンド(愛称:株の祭典)」販売会社一覧

販売会社名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業 協会
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○		
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○		○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

※販売会社によっては新規申込みの取扱いを中止している場合がありますので、各販売会社にご確認下さい。

当資料は、フランクリン・テンプレトン・インベスツメンツ株式会社が作成したものです。取得のお申込みに当たっては、販売会社より最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をお渡しますので、必ず内容を確認のうえご自身でご判断ください。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境などにより変動します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。したがって、元本保証はありません。市場環境等の評価、分析は、将来の運用成果等を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績(税引前)は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
Copyright © 2018. Franklin Templeton Investments. All rights reserved.

<参考情報> 投資対象ファンドの組入銘柄について

銘柄	国	業種	銘柄解説	PER	PBR
SES SA SES	ルクセンブルク	メディア・娯楽	ブロードバンド衛星通信サービスを提供する通信持株会社です。ケーブルテレビ網、インターネット接続、企業ネットワーク、通信網、通信サービス、テレビ放送を対象に配信サービスを手掛けています。	-	-
ROYAL DUTCH SHELL PLC ロイヤル・ダッチ・シェル	英国	エネルギー	子会社を通して石油の探鉱・生産・精製を手掛ける石油会社です。燃料、化学品、潤滑油を製造しています。世界中でガソリンスタンドを保有・運営しています。	14.39倍	1.45倍
ORACLE CORP オラクル	米国	ソフトウェア・サービス	企業の情報管理用ソフトを手掛けるソフトウェア・メーカーです。製品は、データベースやリレーショナル・サーバー、アプリケーション開発および意思決定支援ツール、業務用アプリケーションなどがあります。	18.95倍	5.16倍
CITIGROUP INC シティグループ	米国	銀行	消費者・法人顧客に多様な金融サービスを提供する総合金融サービス持株会社です。サービスには投資銀行、個人向け証券仲介、法人向け銀行、資金管理などがあります。世界各地の顧客を対象にサービスを提供しています。	12.79倍	1.00倍
BP PLC BP	英国	エネルギー	石油と天然ガスの探査・生産のほか、石油製品の精製・販売、太陽光発電、化学品の製造・販売も手掛ける石油・石油化学製品会社です。	21.64倍	1.54倍
ALLERGAN PLC アラガン	米国	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	ジェネリック、ブランド、市販製品の開発・製造・販売を手掛ける特殊医薬品メーカーです。医薬品を世界中に提供しています。	77.35倍	0.88倍
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD サムスン電子	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	半導体、パソコン、周辺機器、モニター、テレビ、エアコン・電子レンジなどの家電製品を製造、販売する家庭用・産業用の電子機器・製品メーカーです。インターネット・アクセス・ネットワーク・システム、携帯電話などの通信機器も製造しています。	6.94倍	1.23倍
SINGAPORE TELECOMMUNICATIONS LTD シンガポール・テレコム	シンガポール	電気通信サービス	固定通信、移動体通信、データ通信、インターネット、情報通信テクノロジー、衛星テレビ、有料テレビなど、多岐にわたる通信サービスとソリューションの提供に従事する通信会社です。支店網は数カ国にまたがり、アジア太平洋、欧州、米国で事業を展開しています。	9.81倍	1.74倍
ENI SPA イタリア炭化水素公社	イタリア	エネルギー	イタリア、アフリカ、北海、メキシコ湾、カザフスタン、およびオーストラリアにて、炭素水素の探鉱・生産に従事する炭化水素生産会社です。イタリアやその他欧州諸国への販売のため天然ガスを生産・輸入するほか、パイプラインによる天然ガスの輸送も手掛けています。また、電力の生産・販売、石油の精製、および給油所の経営も展開しています。	12.79倍	1.16倍
TEVA PHARMACEUTICAL INDUSTRIES LTD テバ・ファーマシューティカル・インダストリーズ	イスラエル	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	ヒト用のジェネリック医薬品およびブランド医薬品のほか、医薬品有効成分の開発、製造、販売に従事するグローバルな製薬会社です。	-	-
STANDARD CHARTERED PLC スタンダード・チャータード	英国	銀行	アジア、アフリカ、中東を中心に事業展開する国際的な銀行グループです。個人、一般消費者、法人、機関、および財務管理向けの金融商品、サービスを提供しています。	23.90倍	0.54倍

※当資料は、各投資対象ファンドの組入上位10銘柄について、各企業のホームページ、Bloomberg等の情報を基にフランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社が作成しました。組入銘柄が重複している場合は記載を省略しております。

※業種分類は、スタンダード&プアーズとMSCIが共同で開発した「世界産業分類基準(GICS)」の24の産業グループを使用しております。

※PER(株価収益率)・PBR(株価純資産倍率)は、Bloombergのデータを使用しております。

※当資料は、投資対象ファンドの上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的として作成したものであり、特定銘柄の売買等の推奨をするものではありません。

当資料は、フランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社が作成したものです。取得のお申込みに当たっては、販売会社より最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をお渡しますので、必ず内容を確認のうえご自身でご判断ください。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境などにより変動します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。したがって、元本保証はありません。市場環境等の評価、分析は、将来の運用成果等を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績(税引前)は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

Copyright © 2018. Franklin Templeton Investments. All rights reserved.